

予備調査結果まとめ

1. 予備調査の目的

「日向東臼杵広域連合次期広域最終処分場基本構想（以下、基本構想）」を踏まえて、建設時の支障となることや今後の基本計画等で検討する事項のうち早期に検討する必要がある事項に係る以下の調査を実施した。

- 測量調査
- 地質調査
- 気象調査
- 景観調査
- 排水先調査

2. 予備調査結果まとめ

予備調査結果より、以下の観点から

建設候補地においてオープン型最終処分場、被覆型最終処分場共に建設可能である。

- ①建設候補地内において、最終処分場として必要な施設の配置が可能である。
（測量調査結果より）
- ②構造物（屋根やコンクリート水槽、浸出水処理施設等）建設時に基盤となりえる硬い地層が比較的浅く分布しており、基礎工事や沈下対策が容易である。（地質調査結果より）
- ③北側の牛舎付近を除き、周辺の道路や家屋から次期広域最終処分場は視認されない。
（景観調査より）
- ④建設候補地から耳川合流地点までにおいて、次期広域最終処分場整備による表流水の増加の影響は極めて低い。（排水先調査結果より）